

2025 年 6 月 30 日

報道関係各位

GMO リサーチ&AI 株式会社

【定点調査（AI トренд）】生成 AI の業務活用には「社内ガイドラインや ルールの整備」が必要（43.7%）

～業務での本格的な定着には制度的・教育的な支援が不可欠～

GMO インターネットグループで、インターネットリサーチ事業を展開する GMO リサーチ&AI 株式会社（代表取締役社長：荻田 剛大 以下、GMO リサーチ&AI 略称：GMO-R&AI）は、保有する国内モニターパネル^{（※1）}「JAPAN Cloud Panel^{ジャパン クラウド パネル}」のモニター1,091 人を対象に、「AI トрендに関する自主調査」を実施しました。本調査は、AI に対する理解を深め、より多くの人々が AI を活用し、社会の発展に寄与することを目的としたものです。2023 年 11 月に開始し、今回で 7 回目の実施となります^{（※2）}。今回は過去の調査とは異なり、対象者を会社員に限定して実施しています。

■調査サマリー

- ・業務において生成 AI を継続的に利用している人は、全体の 25.4%
- ・「ほぼ毎日利用している」と回答した割合は、情報通信業が 24.5%でトップ
- ・業種によって導入段階が異なり、活用度や浸透状況に明確な違い
- ・生成 AI に対する企業・組織の方針で最も多かったのは「特に方針は示されていない」（34.9%）
- ・企業・組織における教育・研修の機会は、「ない」が 62.5%
- ・最も求められているサポートは「社内ガイドラインやルールの整備」（43.7%）

The logo features the letters 'AI' in a large, white, outlined font. Below 'AI', the word 'TREND' is written in a white, sans-serif font, followed by '2025' in a smaller font and 'Summer' in a script font. The entire logo is set against a background that transitions from purple on the left to blue on the right.

AI
TREND 2025
Summer

GMO RESEARCH & AI

■ 調査概要

- ・ 調査テーマ：AI トрендに関する自主調査
- ・ 調査地域：日本国内
- ・ 回答者数：1,091 名
- ・ 調査対象：20 歳～69 歳の男女 会社員
- ・ 調査期間：2025 年 5 月 22 日
- ・ 調査方法：オンライン調査

(※1) パネルとは、アンケート協力の承諾を得ている生活者の集合体。

(※2) 2023 年 11 月 1 回目調査 URL：<https://www.gmo.jp/news/article/8724/>
2024 年 2 月 2 回目調査 URL：<https://www.gmo.jp/news/article/8882/>
2024 年 5 月 3 回目調査 URL：<https://www.gmo.jp/news/article/9016/>
2024 年 8 月 4 回目調査 URL：<https://www.gmo.jp/news/article/9148/>
2024 年 11 月 5 回目調査 URL：<https://www.gmo.jp/news/article/9289/>
2025 年 2 月 6 回目調査 URL：<https://www.gmo.jp/news/article/9468/>

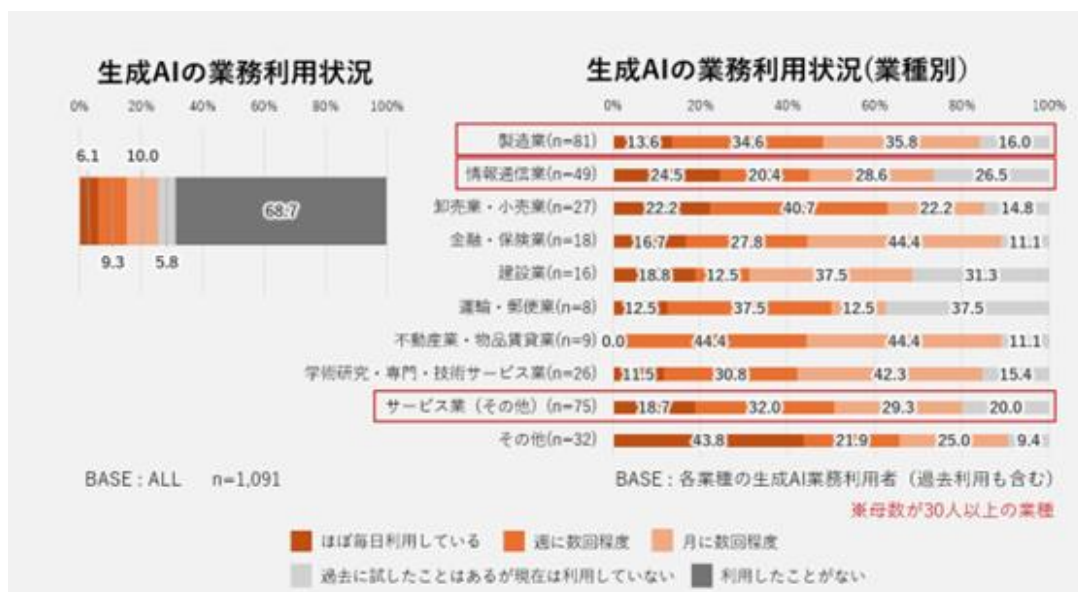
【調査結果】

■ 生成 AI の業務利用状況（2025 年 5 月）

- ・ 業務において生成 AI を継続的に利用している人は、全体の 25.4%
- ・ 「ほぼ毎日利用している」と回答した割合は、情報通信業が 24.5%でトップ
- ・ 業種によって導入段階が異なり、活用度や浸透状況に明確な違い

生成 AI の業務利用状況を見ると、「ほぼ毎日利用している」「週に数回程度」「月に数回程度」といった継続的な利用者は、全体の 25.4%にとどまっています。一方で、「利用したことがない」と回答した人が 68.7%と大多数を占めており、生成 AI はまだ一般層に十分に浸透していない状況がうかがえます。

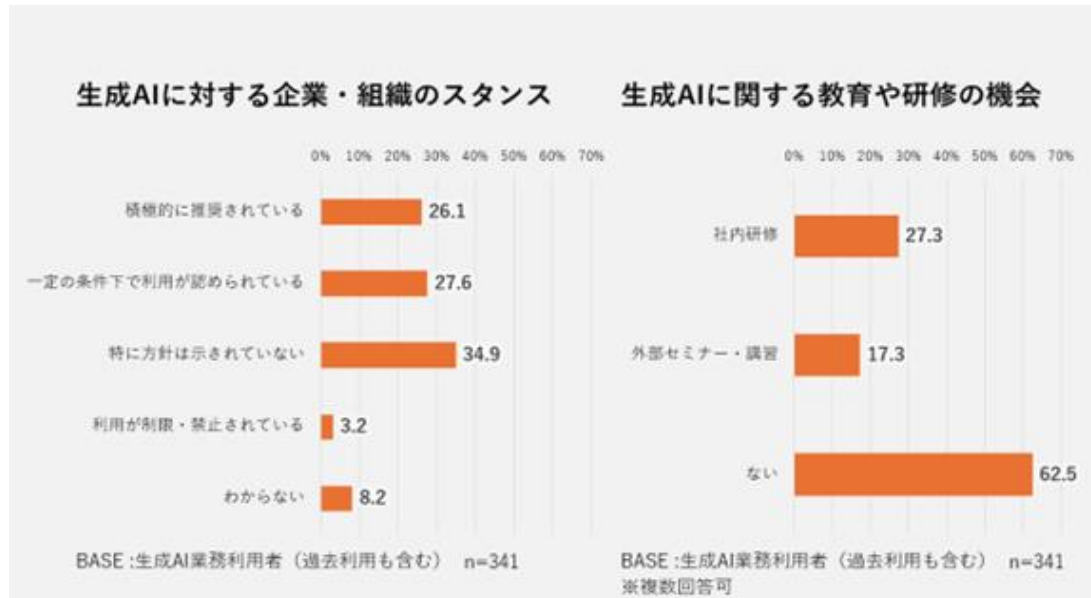
また、生成 AI の業務利用者（「ほぼ毎日利用している」「週に数回程度」「月に数回程度」「過去に試したが現在は利用していない」）を業種別に分析すると、導入や活用の段階が業種ごとに異なることが明らかになりました。母数が 30 人以上の業種では、情報通信業で「ほぼ毎日利用している」と回答した割合が 24.5%と最も高く、業務プロセスの中に生成 AI が深く組み込まれている実態がうかがえます。一方、サービス業（その他）では「週に数回」程度の中頻度利用が多く、生成 AI が業務補助ツールとして比較的安定的に受け入れられている状況です。製造業でも「週に数回」や「月に数回」程度の利用が大半を占め、まだ全社的な導入や高度な活用には至っていないものの、一定の定着が進んでいる段階にあります。



■生成 AI に対する企業・組織の方針、教育・研修機会（2025 年 5 月）

- ・生成 AI に対する企業・組織の方針で最も多かったのは「特に方針は示されていない」（34.9%）
- ・企業・組織における教育・研修の機会「ない」が 62.5%

生成 AI に対する企業・組織のスタンスについて尋ねたところ、最も多かった回答は「特に方針は示されていない」（34.9%）でした。これは、全体の約 3 分の 1 にあたる企業・組織が生成 AI の業務利用に対して明確なガイドラインや方針を定めておらず、制度整備の遅れが浮き彫りになった結果と言えます。



一方で、「積極的に推奨されている」が 26.1%、「一定の条件下で利用が認められている」が 27.6%と、両者を合わせると過半数が何らかの形で生成 AI の利用を容認していることがわかります。多くの企業が生成 AI 利用の可能性を認識しつつも、管理体制や運用方針の整備が追いついていない段階であることがうかがえます。

また、勤務する企業・組織において生成 AI に関する教育や研修の機会があるかを尋ねたところ、最も多かった回答は「ない」（62.5%）でした。全体の 6 割以上が教育・研修の機会を持たないままに生成 AI を活用している実態が明らかとなりました。これは、組織として生成 AI を業務に取り入れるにあたって、体系的なサポート体制の整備が依然として不十分であることを示しています。

■生成 AI を業務でより活用するために必要なサポート（2025 年 5 月）

- ・最も求められているサポートは「社内ガイドラインやルールの整備」（43.7%）

自分自身が業務で生成 AI をより活用するために、どのようなサポートが必要だと感じているかを尋ねたところ、最も多かった回答は「社内ガイドラインやルールの整備」（43.7%）でした。次いで「利用方法や導入手順の研修・ガイド」（35.5%）も高く、全体として生成 AI を“安心して使える環境づくり”や“正しい使い方の教育”を求める声が強いことが明らかになりました。これは、生成 AI のツールとしてのポテンシャルは理解されつつも、業務への本格的な定着に向けては、制度的・教育的な支援が必要とされていることを示しています。



【総括】

本調査の結果、生成 AI を継続的に業務で活用している人は全体の 25.4%にとどまっており、多くの企業で方針や教育体制が未整備である実態が明らかになりました。特に、「生成 AI に関する方針が示されていない」との回答が 34.9%、「教育・研修の機会がない」との回答が 62.5%と高く、制度整備や人材育成の面で課題が顕在化しています。

また、業種ごとに生成 AI の導入フェーズには違いが見られ、「積極導入・定着期」「試行・評価期」「補助的導入期」といった段階に分類できる状況です。そのため、今後の普及促進にあたっては、業種横断的に一律で導入を進めるのではなく、各業界の業務特性や成熟度に応じた段階的・柔軟な施策が求められます。

さらに、「社内ガイドラインやルールの整備」(43.7%) や「利用方法の研修・ガイド」(35.5%) など、制度的・教育的な支援の充実が、生成 AI の本格的な業務活用に不可欠であることが示されました。

【GMO リサーチ&AI について】

GMO リサーチ&AI は「想いを、世界に」をフィロソフィーに掲げ、企業と生活者の関係の再構築を実現する、新しいマーケティング・ソリューション・プラットフォームを普及させる事業を展開しています。世界 130 以上^(※3)の国と地域で消費者にインターネットリサーチが可能なパネルネットワークと AI 技術を活用して、日本のみならず世界各国の企業から調査依頼を受けています。

(※3) 2025 年 1 月時点 提携パネルを含む

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO リサーチ&AI 株式会社
社長室 山本
TEL : 03-5962-0037 (代表)
E-mail : ir@gmo-research.ai

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO リサーチ&AI 株式会社
国内営業部 高橋
TEL : 03-5459-5565
E-mail : info@gmo-research.ai

- GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 小犬丸
TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ : <https://www.group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO リサーチ&AI 株式会社】（URL : <https://gmo-research.ai/>）

会 社 名	GMO リサーチ&AI 株式会社（東証グロース市場 証券コード：3695）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 荻田 剛大
事 業 内 容	インターネットリサーチ事業
資 本 金	2 億 9,903 万円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL : <https://www.group.gmo/>）

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社（東証プライム市場 証券コード：9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社（グループ経営機能） ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO Research & AI, Inc. All Rights Reserved.